

各都道府県産婦人科医会会長 殿

## 日本産科婦人科学会監修「Baby+」に関する

### ご協力をお願い

すでにご報告いたしましたように、平成27年10月29日付けで、日本産婦人科医会は、日本産科婦人科学会監修の妊婦向け「Baby+ お医者さんがつくった妊娠・出産の本」に関して、医会会員にとって不適切な項目があったことから、藤井知行理事長宛にこの小冊子の修正など、善処をお願いいたしました。

この日本産婦人科医会の要望を受けて、日本産科婦人科学会藤井知行理事長より、平成27年11月20日付けで、「「Baby+ お医者さんがつくった妊娠・出産の本」について」と題する回答を受け取りました。その趣旨は、「来年の春を目途に「Baby+」を改訂することとした」というものであります。

この文書についてはすでにメールでお送りし、また、日本産婦人科医会 HP でも掲載しましたので、ご高覧いただき、ご理解いただけたものと思います。

ここに、日本産婦人科医会は、日本産科婦人科学会がこの問題に迅速に対応して、来年春までに改訂版を作成する形で示された誠意に対して、心より感謝するものであります。

一方、この問題が発生したために、日本産科婦人科学会の事業としては新たな問題が生じております。

具体的には、この小冊子の内容のために、各分娩施設におけるこの小冊子の配布状況は滞っており、今後、すでに刷り上がっている総数40万部が妊婦に配布されませんと、日本産科婦人科学会は委託業者との関係から、甚大な損害を被る可能性があります。

私ども日本産婦人科医会と日本産科婦人科学会は、今まで同様、今後も協力し合い、ともに共通の目標を持って医会・学会会員に資する活動をしていかなければなりません。

日本産科婦人科学会のこの小冊子に関する今後の対応については、決定事項として改訂すると決まった以上、日本産婦人科医会は学会の損害を回避することに協力するべきであると考え、日本産婦人科医会常務理事各位の意見を伺いました。

常務理事各位からは色々と意見はありましたが、結論的には、「学会の損害を回避することに協力する」との考えに全員の賛同を得ましたので、日本産婦人科医会として、以下のような形で学会に協力することにいたしました。

そこで、全国の都道府県産婦人科医会会長各位には、以上の状況等についてご理解を賜り、会員各位にも色々のご意見はあるとは存じますが、このことを、それぞれの地域の会員の皆様にお伝えいただき、以下のような協力をお願いしていただきたく存じます。

協力内容：

- ① 来春に改訂版が発行されるまで、この小冊子の、20ページ目の問題となった箇所に関して、以下のような訂正文をつくりますので、その訂正紙をその小冊子につけて、各分娩機関は、妊婦に配布していただきたいと思えます。
- ② 訂正文の内容

Baby+お医者さんがつくった妊娠・出産の本

改訂のお知らせ

本冊子20－21ページ記載の「産む施設の選び方」は、  
2016年春を目途に改訂予定です。

今後も、今まで同様、医会と学会はお互いに助け合い、協力し合い、医会・学会会員に資する活動をして参りますので、この度の問題解決のため、この提案をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

平成27年12月1日

公益社団法人日本産婦人科医会

会長 木下勝之